

JCAABE まちづくりファシリテーター養成講座実施委員会 「建築系まちづくりファシリテーター養成講座」の開発と実践

正会員	連	健	夫	殿	
正会員	松	村	哲	殿	
正会員	野	澤	康	殿	
正会員	市	古	太	郎	殿
正会員	阿	部	俊	彦	殿

本教育活動は、まちづくりに求められる建築系ファシリテーター育成のための教材・方法の開発とそれをもとにした全国の高等教育機関等での実践である。

その取組みの特徴は、まちづくりに関連した幅広い分野の講義とそれに関連した実践を繰り返して行う体験型教育のシラバス、プログラム・方法、教材の開発と実践にある。特に「時間・距離・人」に左右されない学習方法を視野に、オンライン・オンデマンドを用いて現地の教育者が専門家と繋がり協働するハイブリッド型の授業運用や動画教材の開発がなされており、様々な場所、機関、時期（学び直し）での普及を可能とするとともに全国展開する上での教育の質の担保が図られている。

この取組みは 2019 年文部科学省委託事業専修学校による地域産業中核的人材育成事業としてスタートし、幅広い分野の実践者、研究者、教育者による事業実施委員会において整備が進められた。2021 年からはその成果を引き継ぐかたちで一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構（JCAABE）が活動主体となり各地域に根差した教育機関と協働して養成講座の実践が推進されており、全国各地域から海外にまでその広がりを見せている。

2020 年から始まった建築系高等教育機関での実践は、2023 年現在全国 8 校の専修学校での講座の実施、大学 2 校で教材として講座テキストの活用がなされており、2022 年までの講座参加学生数は 383 名、修了者は 289 名を数えている。2021 年にはオンラインによる講座が開始され、社会人の学び直し講座としても活用が進んでいる。

地域社会のコミュニティの活性化や都市の再生など日本が直面する社会課題の中で、現在の「まち」における諸問題を解決するとともに自らが住むまちを自らが作っていくという創造的な活動の活性化は重要である。まちづくりファシリテーターの役割は、まちづくりの主役である住民・市民と行政、専門家をつなぎ、協働してまちづくりを推進していくうえで今後ますますその重要性を増していくであろう。ファシリテーターはまちづくりの幅広い知識や技術とともに市民とつながる態度（Attitude）を身に着けることが必須であるという。そのことを人材育成の中心に据え、これまでなかった全国展開可能なまちづくりファシリテーター養成プログラムを策定・実践し、成果を出しつつある本取り組みはその先進性、独自性、運営上の工夫において斬新な教育活動であるといえる。

よって、ここに日本建築学会教育賞（教育貢献）を贈るものである。